

広報

ただぎ

只見町長・議会議長
年頭のごあいさつ

2～3

黒谷簡易水道地区の水道水水質異常について……4～5
ダイヤモンブラソ事業5期生紹介……6～7
平成26年只見町新年交歓会 他……8～9
町の話題……10～11

今月の表紙

12月9日、平成23年7月の新潟・福島豪雨災害の被害で通行不能となっていた小川橋が復旧し約2年半ぶりに通れるようになりました。今までは近くで遠かった対岸へと皆で手を繋いで渡り待ちに待ったこの日を祝いました。

7
2014 月号
No. 524
平成26年1月10日



「活力ある町づくりを目指して」



只見町長 目黒 吉久

初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

当町におきましては、新潟・福島豪雨から二年半が過ぎようとしています。当初の三年間を復興の集中期間と定め取り組んでまいりました。関係機関、業者の方々のご努力、町民各位のご協力を得ながら、概ねその目標を達成しつつあります。

保養センターも「ひとつぶろ まち湯」として甦り、そのぬくもりを地域の方々に楽しんでもらえるようになりました。

八木沢地域の堤防改修も進んでおりますし、黒谷川・叶津川の改修工事も着実に進んでおります。年度内には只見川圏域の河川整備計画も示されることになっております。

しかしながら一方では、林道災害復旧事業につきましては、その進捗状況には極めて厳しい状況にありますので、引き続き国に対して復旧に必要な期間と財源確保を求めてまいります。

またJR只見線につきましても、県・関係町村(会津十七市町村)が一丸となつて国・事業者に対して全線再開を求めてゆかなければなりません。さらには八十里越地点早期開通につきましても、三条市との連携を深め議会とともに強く働きかけてまいります。

災害復旧に全力で取り組むことは勿論ですが、少子高齢化の進展に伴う人口が減少し、地域の活力が低下する中、住民の安全・安心の確保と共に、こうした厳しい状況の中にあつても未来に向けた存続と自信・誇りの回復を目指し、地域の活力を高めていくことが最重要課題であります。

特に高齢化が進む集落・地域対策は重要で、集落の維持や主体的な活動に取り組みやすい交付金制度を用意し、「集落の元気がなくして町の元気がなし」町民と共につくる町づくりを基本に諸施策を進めてまいります。

定住促進雇用対策としましては、若者等の移住、定住につながる新規就業者支援に併せ、観光産業とも結びつく農林水産物の生産・加工・販売体制の確立支援に取り組むと共に、雇用拡大に向けた町内の企業活動についてはこれまで以上に積極的に支援してまいります。高齢化の進む中、新農政の動行を注視しながら、担い手育成と集落営農にも着目して、社会の変化に対応した施策を展開してゆかなければなりません。

住宅対策につきましては、持ち家政策の推進と若者のニーズにあつた定住促進住宅の整備とともに空き室対策においても廃屋対策と併せ、集落活性化の視点から利活用に取り組んでまいります。

新庁舎・只見地区センターの整備

につきましては、町民の皆様の声を取りまとめ設計を進めてまいります。

高齢者の皆さんが安心して暮らせるよう医師の現行体制を堅持するとともに、障がい者活動支援や小規模特別養護老人ホームの次年度竣工を目指し保健・福祉・介護の充実に努めてまいります。

少子化の進む中、子育て支援は待たなして、新年度には子育てのしやすい環境づくりと経済的支援の拡充もはかつてまいりたいと考えております。

教育においては、真の人間力形成と学力向上対策は最重要課題であるとともに、只見高校の存続と復興対策はもとより、文化・スポーツ団体等への活動支援にも力をいれてゆきたいと考えております。

また本町の長い歴史の中で育まれた町の文化遺産を町民の誇りとして、学校教育や社会教育、更には観光的にも活かしながら守り育ててゆくことがますます重要だと考えております。

私達は今般の大災害を経験し、経済性優位の価値観から自然と共に暮らす生活の価値を改めて見つめ直し、学ぶことができました。

町はすでに自然首都只見を宣言し、地域の自然と歴史・文化・暮らし・産業を守りながら地域社会の発展を目指しておりますが、ユネスコ

り、将来も持続的に維持発展できる社会を創ってゆくための覚悟を示すため、その登録を目指してまいりましたが、昨年九月に正式にユネスコへの登録申請がなされ、六月頃には登録決定となる予定です。

このことは国際化の進む中、只見らしい本物の地域色を打ち出し、ユネスコにより世界的な評価を受けることが、町の誇りとなるばかりでなく、合理的・効率性を求める市場原理の中で自立して只見町が生き残つてゆくための戦略であります。より具体的な行動計画を示し、町民理解と参加を頂きながら推進してゆくとが今後の課題であります。

以上申し上げましたさまざまな地域課題の解決に向けて全力を傾注して参る所存ですが、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力がなければ実現は不可能であります。職員一丸となつて取り組むことは本より、それぞれの立場でのお力添えを賜りながら町外の方々も含め、みんなの力が発揮できる、活力ある町づくりを目指してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに平成二十六年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようお願い申し上げます。お祈り申し上げます。

「開かれた 議会運営を目指して」

只見町議会議長 齋藤 邦夫



新年明けましておめでとございます。

只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には輝かしい初春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

さて、昨年の政治経済情勢は国内外共に、正に激動の年でありました。中国や韓国との竹島や尖閣諸島の領有権問題を発端に防空識別圏設定など緊迫した状態が続き、竜巻や豪雨の発生やフィリッピン台風の甚大な被害等、異常気象による自然災害の恐ろしさを実感させられた年でもありました。

我が国においては、第二次安倍政権が発足し、アベノミクスを掲げ、大胆な経済金融政策が推進され、昨年七月の参議院選挙においては与党が過半数を獲得し、「ねじれ国会」に終止符が打たれました。結果、特定秘密保護法の成立、消費税率引き上げ決定、度重なる福島原発の汚染水漏れ対策に国費投入がなされました。明るいニュースとしては、二〇二〇年東京オリンピックの開催決定、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルス

の優勝等がありました。

日本経済は、政府の成長戦略や為替の円安効果による企業業績が伸張り、今後は地方経済への波及が期待される処であります。一方、TPP交渉の参加は、米など農産物への関税の取り扱いが焦点となり、農業者に経営不安を与えております。また、道州制導入や地方財政制度改革は、地方自治体財政の基盤を覆す深刻な問題と懸念されております。

東日本大震災・原発事故並びに新潟・福島豪雨災害からすでに二年半が経過し、本町においては道路・橋梁や農地・農業用施設の復旧が進む一方で、林道災害は現場の特異性や土木業者の不足等で復旧が大幅に遅れており、迅速な復旧復興が求められます。また、豪雨災害復興基金を活用した事業の推進を図り、速やかな地域対策が要請されます。

JR只見線は、国土の均衡ある発展と沿線住民の生活の安定に寄与し、本町の「自然首都只見」エコパーク構想の推進に重要な役割を果たすものであります。只見川口駅間の不通区間については、「福島県只見線復興

基金」が創設され、この度、会津地方十七市町村の負担金が了承されました。今後は、全会津市町村が一丸となりJR只見線の早期全線復旧運動を推進してまいります。

さて本町は、少子高齢化に起因する様々な課題が山積しております。国においては、年金制度や医療・福祉政策が国民の高齢化の進行に追い付けないのが現状であります。本町はこれまで経験したことのない「超高齢化先進自治体」として限界集落対策や子育て支援、高齢者及び介護福祉対策等、先取りする独自の施策の検討が求められていると考えます。

今後の町振興計画の見直し、介護保険事業計画や高齢者福祉計画の策定及び小規模特養ホーム・障がい者グループホームの建設、更には、只見地区センター・民具収蔵展示施設・役場庁舎の建設等、当面する喫緊の行政課題に速やかに対処するため、行政執行体制の整備が急務と考えます。

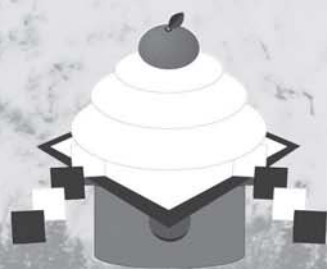
議会は二元代表制の下、町民を代表する意思決定機関として、執行機関の提案する施策や予算を審議決

定し、監視すると共に積極的に政策を提言し、互いに善政を競いながら町政の発展に努力して参ります。

また、全国に先駆けて制度化した通年議会制度や議会基本条例に基づき、町民の負託に応え「開かれた議会」をめざして、会議の公開、議会報告会の実施、議会だよりの充実に努めて参ります。

只見町議会は、当局とともに町民の意思を尊重し、只見町の更なる発展のため、誠心誠意努力をして参りますので、町民各位のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



只見町統合簡易水道 黒谷簡易水道地区の水道水水質異常について



▲朝日地区センター前での給水活動

11月23日から12月3日までの約10日間にわたり黒谷簡易水道地区の水道水水質異常により、住民の皆さまには多大なご迷惑とご負担をおかけしました。
ここに今回の水質異常について改めてご報告いたします。

(経過)

●11月23日(土)

午後3時30分頃に黒谷地区の水道水に濁りがあるとの通報を受け、黒谷簡易水道地区の浄水場を検査した結果、井戸原水の色度が水道水水質基準値を上回っていたため給水停止措置をとりました。井戸原水のくみ上げ排水を実施し水質改善を図りましたが水質基準値内まで改善するには時間がかかることが予想された為、生活用水の確保を目的に、午後4時30分に配水を再開し、午後6時30分より飲用水の給水活動を開始しました。

●11月24日(日)

井戸原水のくみ上げ排水により朝にはかなりの水質改善がみられたものの、午後には再度悪化し飲用配水再開に至らず、以降色度が高い状況が続きました。

●11月25日(月)～12月3日(火)

朝日地区センター、長浜公民館、下福井公民館、榑戸公民館、小川公民館の5箇所飲用水の給水活動行うと共に、現浄水場の井戸水水質改善対策と建設中の新浄水場を暫定稼働させる為、水質検査を行なった

上で既設配管に接続し、水源切替・送水を実施しました。

●12月3日(火)

新浄水場の暫定稼働開始により午前9時30分に飲用制限の解除を行いました。

今回の水質異常の原因は現在も突き止めるまでには至っておりませんが引き続き調査を進めてまいります。

節水のご協力を お願いします

現在、新浄水場を暫定的に稼働させておりますが、配水池の容量が小さい為、食事やお風呂の時間など水を多く使う時間帯には一時的に水圧が弱くなってしまうことがあります。その際には時間をずらしていただくなどの対策をお願いいたします。また、平時から節水に努めて頂きますようお願いいたします。

ひとり暮らしのお年寄り宅へ 飲料水を宅配

ひとり暮らしのお年寄りが給水所まで水を取りに行く事が大変だと思い、水を配って歩いてくれた渡部 瑠唯さん（只見中3年）にインタビューをさせて頂きましたので皆さんにご紹介します。



▲只見中学校3年 渡部瑠唯さん

Q 水を配ろうと思ったきっかけは何ですか？

母親から、「ひとり暮らしのお宅が近所にはたくさんある」という話を聞いて大変だと思い水を配ろうと思いました。1日おきぐらいに水を配り「足りなくなったらまたお願い」と言われ配って良かったなと思いました。

Q 日頃からご近所付き合いはありますか？

はい。顔見知りのおじいちゃんやおばあちゃんに水を持って行きました。ゴミ拾いなど地区の行事に参加する事も好きです。

Q 将来の夢や、やりたい事はありますか？

自然がたくさんあって癒される只見町が大好きです。部活の大会などで他の地域に行った時に只見町の良さを改めて実感します。只見町が好きなので、将来はこの町で保育の仕事がしたいと思っています。

自分の意志でこのような行動をとれた事は本当に素晴らしい事だと思いました。

3年生の瑠唯さんはこれから高校受験ですが進路実現に向けて頑張りたいと思います。

地域人材育成ダイヤモンドプラン事業 「ふるさと只見・人材育成講座」

教育委員会が主催となり行なっている本事業も4年目となり今年度は「次世代イノベーターの育成」をテーマとして只見高校生を対象者とし募集を行い10名が講座に参加する事となりました。



▲開講式の様子

12月13日に只見地区センターで開講式が行われ、受講生は緊張した様子でしたが、渡部教育委員長職務代理や目黒町長、齋藤

齋藤教育長から「まず、自分の責
任で決断して参加した事が素晴らしい。楽しく学びながら自分を成長させて欲しい」という話を聞き、これから行なわれる講座に不安を持ちながらも期待しているようでした。

イノベーターとは「新しいものを最も早く受け入れる者」という意味があり高校生という年齢はこのイノベーターに最も適していると思います。12月19日～20日の松下政経塾での研修では早速何かを吸収したのではないのでしょうか。

次のページでは2年間の研修を受ける10名の皆さんの思いや意気込みを紹介します。

第5期生 平成25年度カリキュラム

実施日	講座内容
12月19日 ～20日	松下政経塾で「志し・発想し・行動する力」を学ぶ1泊2日の研修
3月中旬	只見おもしろ学ツアーに参加し楽しく学びつつもふるさとに誇りを持ってもらう
3月24日 ～25日	東京ディズニーリゾートキャンパスで「相手の立場に立ち、自ら積極的に行動する」思いやりの極意を学ぶ1泊2日の研修

※都合により内容・日程が変更になる場合もあります。



▲松下政経塾での研修

第4期生

「伝統文化クリエーターの育成」講座



▲熱心に映像を見る参加者



▲振る舞われたぜんまい料理

12月11日、第4期生の18回目となる講座が蒲生地区集会施設で行なわれました。4期生は只見の伝統文化をみんなが学び、楽しみ、伝承するというテーマで様々なメニューを行なっています。今回の講座では只見町で昔から行われている「ぜんまい採り」について採取や加工方法を約15分の映像にまとめナレーションを入れたものを作成し、それをぜんまい採りを行なってきた方に見て頂き内容などを確認して頂きました。また、ぜんまいを使った料理も会場で振る舞われ楽しみなながらも貴重な意見を聞く事が出来た講座となりました。

第5期生

10名の紹介と意気込み



田中 梨子さん(高1)

まだよく分かりませんが、この講座で学んだ事を将来に役立てるように取り組んでいきたいと思います。



関 桜さん(高1)

この講座は普段学べない事を学べるので、1つ1つしっかり学んで様々な事を覚えたいと思います。



新國 優さん(高1)

貴重な経験が出来ると思うので、たくさんの事を学びたいと思います。



本名 未幸さん(高1)

あまり体験出来ない事なので、教えてもらった事は定着させ楽しみながら学びたいと思います。



五十嵐美央さん(高1)

楽しみながら様々な事を学びたいと思います。



三瓶 梨菜さん(高1)

今回の講座は地元にいる私たちにとって外で学べることが出来る貴重な時間なのでしっかり学びたいと思います。



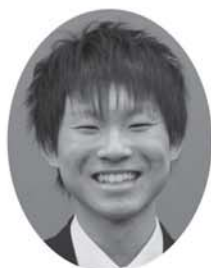
小沼 拓矢さん(高2)

自分の進路の視野を広められるような体験したいと思います。



斎藤 瑞生さん(高2)

この講座に「人材育成」という言葉があったのをみて応募しました。この講座に参加する事で自分がどこまで変われるかが楽しみです。



柳下 一貴さん(高2)

この講座を通して多くの事が学べる事を期待しています。



目黒 健太さん(高2)

只見町の将来の為、また進路実現の為にこの講座で学んだ事を活かしたいと思います。

平成26年只見町新年交歓会

平成26年只見町新年交歓会は穏やかな天候のなか1月5日に季の郷湯ら里で行われ、町内外から135名の方が出席しました。

交歓会は、目黒町長と齋藤議会議長が年頭のあいさつを述べ、来賓の佐藤正史南会津地方振興局長と星公正福島県議会議員より祝辞をいただきました。祝宴の前には只見松楓会の皆さんに謡をご披露いただき

き、川原田只見町商工会長の音頭で乾杯し祝宴に入りました。

アトラクションとして天領只見仙獄太鼓保存会の皆さんによる太鼓演奏が披露され、素晴らしい演奏に会場からは惜しみない拍手が送られました。

最後に角田行雄教育委員長の音頭で只見町のさらなる発展を願い万歳三唱を行い閉会となりました。



▲年頭のあいさつを述べる目黒町長



▲町政の発展を願い参加者で万歳三唱

只見町民具収蔵展示施設整備にかかる町民説明会

12月18日、教育委員会は明和地区センターで教育広聴会・只見町民具収蔵展示施設整備にかかる町民説明会を開催し明和地区の方が参加されました。教育長は「行政が建てるのではなく、皆さんが建てるという視点で考え意見を出してほしい」とあいさつし民具展示施設案の説明が終わると参加者からは様々な意見が発言され、収蔵展示施設以外にも只見町の教育行政についてなどの意見交換も行なわれました。今後も説明会を行い様々な意見を町民の皆さまより頂く予定となっております。



▲貴重な意見を聞く事が出来た説明会となりました

学校運営協議会

11月20日に只見小学校で今年度の第2回学校運営協議会が開かれました。

学校運営協議会とは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校を運営していくための会で只見小学校で発足されて1年が経ちました。

今年度の取り組みとしては、道德の時間に外部講師を招いての講話や、落花生の栽培を5・6年生に指導するなど地域との連携を深めました。次年度も学校と地域が連携した活動ができるよう検討するとの事です。



▲教育活動についてさまざまな意見交換が行なわれました

受賞おめでとう
秋の叙勲

元只見町消防団副団長

佐藤 伊佐男さん

瑞宝単光章



瑞宝単光章を受章された佐藤 伊佐男さんは、昭和46年に只見町消防団に入団し、訓練指導部長や訓練分団長などを歴任され、只見町消防団の消防訓練の充実強化や消防団組織の育成強化などに取り組みるなど34年間の長きにわたって消防・防災活動に尽力されました。

また、平成5年から平成18年までの13年間にわたり只見町消防団副団長を務め、只見町の振興発展に多大な貢献をされました。

平成25年度福島県教職員研究論文表彰
只見・朝日小学校が入選

福島県教育委員会が主催する平成25年度福島県教職員研究論文表彰で、算数科において只見小学校、朝日小学校が入選を受賞されました。只見小学校は昨年に引き続きの入選となり、どちらの小学校も特色ある授業や学習指導を行いながら子供たちの算数の学力向上について研究され取り組んできた活動が認められ表彰されたものです。



▲報告に来て頂いた只見・朝日小学校の先生方

教育委員会
辞令交付

只見町議会11月会議において教育委員2名の選任について同意がなされました。また、只見町教育委員会定例会において、教育長に齋藤修一氏が再任されました。

齋藤教育長と渡部教育委員の任期は平成25年12月1日から平成29年11月30日までとなります。



教育長 齋藤 修一氏



教育委員 渡部 仁二氏

教育委員長
角田 行雄氏

只見町教育委員会は定例会において教育委員長に角田氏、委員長職務代理者に渡部氏を任命しました。

角田氏は新任となり就任にあたり「安倍内閣のもとで教育委員会改革が日程にのっておりますが、1月5日付けで教育委員長に就任しました。制度は変わっても住民・町民の視点で只見町の教育、文化、スポーツの推進を図る役割は変わりなく、今後も全力で責務を果たしていきますのでどうぞよろしく願います。」と話されました。

任期は平成26年1月5日から1年です。



教育委員長 角田 行雄氏



▲今シーズンの無事故を願い関係者でテープカット

「喫茶 キャンドル」 一夜かぎりの素敵な夜を

只見スキー場オープニングイベントとして12月21日に「喫茶キャンドル」が行われました。「100万人のキャンドルナイト in 只見」実行委員会の主催のもと、ロッジの中やゲレンデまでたくさんのろうそくやキャンドルが飾られ、只見スキー場は美しく幻想的な風景となりました。訪れた人は食事などをとりながら温かくスローな夜を楽しみました。

只見 雪の量も十分 見スキー場がオープン

只見スキー場のオープン式は12月20日にスキー場ロッジで行われ、多くの関係者が出席しました。目黒町長は「観光客にも安全で楽しんで頂けるスキー場になるようスタッフが準備を進めてまいりました。また、ゲレンデの利用だけではなく多くの方にレストランも利用して頂きたいと思います」とあいさつし安全祈願とテープカットが行われました。



▲幻想的なろうそくの明かりがスキー場を包みしました

ク 朝日地区センターで クリスマス会とフリーマーケット

12月1日に毎年恒例となっている朝日地区センターのクリスマス会が行われました。今年もたくさんの子供たちが集まり歌やゲームなどして少し早めのクリスマスを楽しみました。

また、今年はフリーマーケットも同日開催され、子供の衣類など多くの商品が並びクリスマス会に子供を送ってきた保護者などに好評でした。



▲サンタさんから良い子のみんなへプレゼント

買 大好評だった い物支援バス!!

12月25日、明和自治振興会と明和地区センターの共催で「買い物支援バス」が行われ、布沢・坂田などから20名の方がバスを利用されました。この事業は交通手段がなく買い物などに不便を感じている方に試験的に行われたもので、利用者は買い物だけではなく、郵便局やJAで用事を足したり、散髪などもされていました。

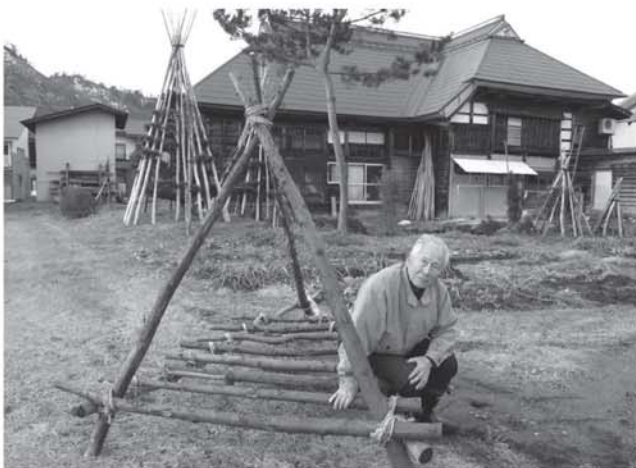
今後は、内容を再度検討し、さらに利用しやすい方法での実施を予定しております。



▲時間を気にせずゆっくりと買い物が出ました

「カリヤス」が完成

只見字原の新国博之さんは、このほど只見川で使っていたカリヤスを作りました。水路に水を引く大堰普請という集落総出の作業が、昭和30年頃まで行われていました。カリヤスは、堰普請の際、川をせき止めるために使われる道具です。新国さんは、只見川水害記録誌の資料とするため、当時と同じカリヤスを作り、教育委員会に寄贈されました。カリヤスは使い捨てられるものなので、現物を見ることがむずかしいのですが、民俗資料としてたいへん貴重なものです。



▲完成したカリヤス

「カジゴ焼き」を再現

秋も深まってくると、山々からカジゴ焼きの煙が立ち上ったものです。カジゴは堀コタツに使う炭で、昭和40年代までさかんに焼かれていました。しかし、練炭や豆炭、そして電気コタツが普及してからは使われなくなってしまいました。

そのため、カジゴ焼きを記録に残そうと、福島県農林水産部が只見町のカジゴ焼きを映像に収めました。蒲生の三瓶利之さんと三瓶栄一さん、八木沢の矢沢一男さんの協力を得て二日かかりで収録されました。むかしのようにならざるに適切な場所や材料となる柴が少なく手間はかかりましたが、無事に成功。この映像は、平成26年4月から福島県森林環境税ホームページで見ることができます。



▲再現されたカジゴ焼き

伊 人権作文コンテスト 藤 舜さんが入賞

第33回中学生人権作文コンテスト福島県大会で、只見中学校3年の伊藤 舜さんが奨励賞を受賞され、12月11日に只見中学校で表彰状の贈呈式が行われました。また、只見中学校も人権思想の普及に対しての成果をおさめたことが認められ感謝状が贈呈されました。



▲只見中学校で受賞式後の記念撮影

少 只見剣道スポーツ少年団 年剣道教育奨励賞を受賞

只見剣道スポーツ少年団は、全日本剣道連盟より少年剣道教育奨励賞の表彰を受けました。これは、少年剣道の指導面に対して評価されるもので大会などの成績とは関係なく、剣道の指導活動を続け地域の剣道を支えている団体・組織等に対して表彰されるものです。

2013年度の県内の受賞は、只見剣道スポーツ少年団のほか5団体が受賞しています。



▲受賞おめでとうございます

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師

菅家

智史



「朝日診療所の医療機能」

新年あけましておめでとうございませう。私は只見町へ赴任して3度目の新年、町民の皆さんに支えていただき勤務を続けております。今回は新年ということもあり、改めて朝日診療所の医療機能を「外来診療」「入院診療」「急病対応」「在宅医療」「保健福祉活動」の5つに分けて、改めて紹介したいと思います。

「外来診療」では、高血圧、糖尿病などの生活習慣病はもちろん、大病院の定期観察を引き継ぐ連携も行っていきます。遠くの病院まで通院するのが大変だ、という方は、診療所までご相談ください。月に1回の朝日診療所受診と数ヶ月〜1年に1回の病院受診を組み合わせたなど、病気の分野を問わず可能な限り対応いたします。

「入院診療」では、肺炎、尿路感染症など入院での治療が必要な病気で、かつ朝日診療所で対応可能と判断された方の治療を行っています。高齢の方の入院が中心ですが、介護施設の

整備が進んできたおかげで長期に入院する方はほとんどおらず、日単位で週単位で退院される方がほとんどです。朝日診療所で治療困難な病気の際には責任をもって、他病院へ紹介しています。

「急病対応」としては、24時間365日診療可能な体制をとっています。救急車での急病人搬送も受け入れており、ニューズなどで紹介される「たらい回し」のような事態は一切ありません。しかし、私たち医師も人間ですので、夜間の呼び出しが頻回になると判断が鈍ることもありえます。最近では町民の皆さんが「急病のてびき」を見てくださるなど夜間休日の受診数が減ってきたため、夜間急病で受診した方の対応がより迅速にできています。今後も、急病の時に頼りにしていただける診療所であるよう、努力してまいります。

「在宅医療」は最近ご希望が増えてきています。人手の関係

で、「今、具合が悪いから家まで診に来てくれ」というご要望にはなかなか応えられないのですが、高齢で家の外まで出ることが困難になった方を対象に、定期的にご自宅へ訪問して診療しています。今後も対象となる方は増えてくると思われまので、ご希望の方は診療所でご相談ください。

そして「保健福祉活動」です。病気はかかる前に「予防」することが最も大事です。健康診断、予防接種、健康講演会などの形で、町の保健福祉課と協力して活動しています。

このような活動を通して、「町の診療所」として住民の皆さんから頼りにされる診療所にしていきたいと考えています。皆様からいろいろなご要望を頂いており、すべてに答えることはできませんが、今後も努力していく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今月の運動

今月の運動も膝痛予防の運動をご紹介します。

膝回りの筋肉が弱くなると、膝の骨に強い負担がかかります。

冬は特に活動量が低下し、筋力が弱くなり関節が痛くなりやすい季節となります。



座った姿勢や横になった状態で、膝と膝の間に座布団や枕を挟み、挟んだものをつぶすように力いっぱい足に力を入れます。5〜10秒その姿勢を保ち、10回〜20回を目安に繰り返してみましょう。

町史

とっておきの話

234

只見町文化財調査委員

新国 勇

町民が生んだ只見の宝「民具」④

町史編さん事業と 民具整理

只見町史編さん事業が、平成元年にスタートしました。これは町の歴史や民俗、自然について総合的な学術調査を行い、聞き取りや資料の収集、現地調査をして本にまとめようというものです。教育委員会内に町史編さん室を設け、本巻六冊、資料集五冊の計十一冊を刊行する計画です。

はじめの一冊は、町史『民俗編』を発刊することになり、民俗部会が立ち上がりました。町内を調査するうち、あちこちに民具が集められていることが話題となり、民俗調査の一環として、民具も調べてみようということになりました。そこで翌二年度から只見町民俗資料分類整理事業として予算化され、同年六月、本格的な民具整理がはじまりました。参加したのは、地元の歴史や民俗を愛好していた朝日郷土研究会と明和の民俗を語る会の方々です。代表は、朝日は横山哲夫さん、明和は目黒鶴吉さんで、どちらも当時の公民館長だったことから、公民館を巻き込んだ展開となりました。年齢は、四十歳代から最高齢九十歳まで

と幅広く、あわせて三〇人ほどが集まりました。この作業では、徹底した整理マニュアルが作られ、整理後は民具の本を発刊することを目標に掲げました。指導には、民俗編執筆者の佐々木長生福島県立博物館主任学芸員があたり、収蔵先の旧朝日公民館と旧明和中学校寄宿舎が整理場所となりました。カードやカメラなど必要なものは教育委員会がすべてそろえましたが、作業は町民自らが行います。

山のように積まれた民具は、何十年も放置されていたため、ホコリが積もり、クモの巣がはり、カメムシが入り込んでいてひどい状態でした。そのような民具のホコリを払い、ぞうきんで汚れをふき取ることから始まりました。ナベやカマ、ノコギリ、ナタといった鉄製品はサビを落としてから椿油を塗り、新聞紙で包みます。こわれていた民具は補修しました。そして、きれいになった民具から寸法を測ります。つぎに台帳用の民具カードに、通し番号を打ち、名称、寄贈者、計測値、使い方を記入します。最後に写真に撮ったあと、民具にも同じ通し番号と名称、寄贈者を記した小さなカードをつけるのです。

二か所で別々に行っていたので、「うちは一日一〇〇個整理した」「むこうでは一二〇個整理した」などと競争となり、整理は一気に進んで、現場での作業は十一月に終了しました。さらに梁取の蔵や旧入叶津分校、旧五十嵐住宅にあった民具も一緒に集めて整理を終えました。

冬に入ると、公民館に集まって民具カードに写真を貼り、裏面に民具にまつわる思い出や使い方を記入しました。これは何も知らない自分の孫子に教える気持ちで書いてもらったものです。そして、平成三年三月、四四一七点にのぼる民具の整理が完了したのです。

平成三年度からは本の出版に向けて作業が始ま

りました。本に掲載する写真は、民具整理に携わった町民が出演し、民具の使い方を再現する形で撮影が行われたのです。これは町史資料集第一集『図説会津只見の民具』として翌四年一月に刊行されました。たいへん好評で一か月ほどで売り切れ、その後二回にわたって増刷されたほどです。

この第2期にあたる民具整理では、平均年齢七十歳以上というお年寄りたちが、毎日、水もトイレもない作業場で、ススと汗まみれながら、苦勞の多い作業となりました。しかし、だれ一人文句も言わず、喜々として整理し、民具の思い出をカードに記したのです。まさに町民パワー全開で悲願だった民具の整理を完了しました。町民による民具整理のちに「只見方式」とよばれ、全国から注目されるようになりました。



▲ 民具の山を端から整理



▲ 大量の民具カードを分類

町民文芸



只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

野菜取り終へし畑に今年また薫塚積まるを飽かずに眺む

古川 英子

雨のあとに雪に変わりし山里は霜枯れもせぬ草白くなる

小倉キミ子

老いし身に疲れ残れど冬囲ひ終りし後の夕餉は旨し

馬場 八智

毒ぼつこと伝へられ来し野葡萄は実も葉も蔓も薬草と聞く

渡部ゆき子

わが膝に一人が乗れば皆が寄りそれぞれ孫の体温伝ふ

目黒 富子

秋遅き紅葉のなか初雪の降りし山並彩りの冴ゆ

新国由紀子

不意にきて消えざる友の悲しみか蛇口の水のしたたる音す

五十嵐夏美

訪ねたき人ら浮かべど今日もまた家事に追はれて暮れてゆくなり

関谷登美子

寺巡り散りくるもみぢのひとひらを拾ひて我は手にのせて見る

渡部ヨリ子

膝の手術して四日目にリハビリを行ふ姉に娘添ひゆく

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

秋晴や口に唾いて釘を打つ
すっぽりと大根抜けて覗き見る

都

里神楽ひとり三役いや五役
曲屋の並ぶ山家に初日射す

恒 夫

ストーブの前を取り合う兄弟
廢鶏の大根汁の塩の効き

一 穂

垣添いに菊の花さく空家かな
朝寒や雲るガラスに孫と書き

又壺歩

佛徒なれ手を合わす事クリスマス
父の訓何か笑えて年夜かな

洋 子

水輪幾重のどやかに添ふ番鴛鴦
日を受けて目薬紅葉緋と映ゆる

吉 児

赤飯は「梅三郎」よ今年米
ロングコートの若き女性や伝道師

礼

住吉の恵比寿大黒十二月
水口の祠の前のからすうり

邦 男

つかの間の晴れ間を得たり冬仕度
ランナーの吐く息白し並木道

信

健康の自信たっぷり今朝の冬
着ぶくれて散歩を兼ねてポストまで

邦 夫

冬空やくたびれてきし軍手かな
音立ててカーテンを引く寒さかな

修 一

人は死ぬものとは言えど冬紅葉
酒飲みを見て育ちたる兔の子

笑 羊

大袈裟に丸太で囲む冬囲
野兎も両足伸ばし眼るらん

藤 彦

白鳥の今夜の埒いづこやら
断水や昔の清水汲みに行く

リウコ

正しい操作で、安全除雪!!

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。

除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

- (1) 作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- (2) 雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう。
- (3) 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょう。
- (4) 後進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。
- (5) 除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車・建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにしましょう。
- (6) 安全装置が正しく作動しない状態では使用しないようにしましょう。また、安全装置を意図的に解除したり、故障を放置したままでは使用しないようにしましょう。

○問い合わせ 一般社団法人日本農業機械工業会／除雪機安全協議会
電話03-3433-0415

「SACRAふくしま」 開設のお知らせ

～性暴力被害者のために～

SACRA ふくしま(性暴力等被害救援協力機関)とは、ふくしま被害者支援センター、福島県産婦人科医(協力病院等)、福島県警察の三者が、連携・協力して性暴力等の被害にあわれた方の支援にあたるネットワークです。

SACRA ふくしまでは、カウンセリング、付添い支援、協力病院の紹介、公費負担制度の説明等の支援をしています。

ひとりで悩まず、まずは相談してください。

相談専用電話 SACRA ホットライン

(ふくしま被害者支援センターの女性支援員が対応します。)

さくらしえん
024-533-3940

月・水・金 10:00～20:00

火・木 10:00～16:00

(土・日祝祭日・年末年始を除く)

※要望に応じて病院、警察等へできる限り付き添います。

お知らせ

Information

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	
	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

税 今月の納期

1月27日までに

納めましょう

- 町県民税(4期)
- 固定資産税(4期)
- 農集排使用料(1月分)
- 後期高齢者医療保険料(6期)

国有林モニターを募集します

国有林の管理経営に皆様の声を反映させていくため、意見や提言を伺ったり、アンケートに答えていただく、平成26・27年度国有林モニター70名を募集します。

- 応募条件 関東森林管理局内1都10県に居住の成人(国会・地方議会の議員、地方公共団体の長、国家公務員、国有林モニターの経験がある方を除く)
- 応募方法 平成26年2月14日(当日必着)までに郵便はがき等へ必要事項を記入の上、下記の申込み先へ応募下さい。
なお、関東森林管理局ホームページからもご応募いただけます。
- 必要事項 氏名(ふりがな)、性別、年齢、住所、電話番号、職業、応募の理由
- 発表 応募状況によっては、抽選による選定をさせていただき、抽選結果を平成26年3月末までに書面にてお知らせします。
- 申込み先 〒371-8508 群馬県前橋市岩神町4-16-25
関東森林管理局国有林モニター係(FAX:027-210-1154)
申込方法等の詳細については、関東森林管理局ホームページをご覧ください。
- その他お問い合わせ先 林野庁関東森林管理局国有林モニター係(電話 027-210-1150)

多重債務・貸金業 に関する相談窓口

福島県財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。相談は無料ですのでお気軽にご相談下さい。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問合せや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

相談窓口 福島市松木町13-2

福島財務事務所 理財課

受付時間 月曜日～金曜日

(祝祭日、年末年始を除く)

午前8時30分から午後5時15分

電話 024-533-0064

(多重債務相談窓口直通)

024-535-0303(理財課)

町長の手帳

町長スケジュール (12月分)

- 2日 教育委員辞令交付式、南会津会評議員会・理事会、南会津郡町村会会議
- 4日 民生児童委員会委嘱状交付式、町長予算査定
- 5日 只見町防災会議
- 6日 滝調整池堆砂対策連絡協議会、雪まつり実行委員会、佐藤伊佐雄氏叙勲伝達式
- 7日 星県議と郡内町村長及び議員との懇談会
- 10日 議案検討庁議、東邦銀行業況説明会
- 11日 時事通信社インタビュー
- 12日 県立福島医大表敬訪問
- 13日 雪むすめ委嘱状交付式、水の里まつり実行委員会、人材育成ダイヤモンドプラン第5期生開講式
- 17日 只見町議会12月会議(～20日)
- 20日 只見スキー場オープン式
- 25日 只見線復旧全会津町村首長会議、会津総合開発協議会臨時総会、民生児童委員会忘年会
- 26日 南会津広域圏組合管理者会・臨時議会・全員協議会
- 27日 仕事納めの式(あさひヶ丘、役場)

町民の消息

(12月1日～12月31日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

小松山 達也(男/ 淳・みつ美) 只見

■ご結婚おめでとうございます

千葉県 枋内 大和♡塩 沢 渡部亜耶佳

■おくやみ申し上げます

梁 取 和 男	80歳	大 倉
鈴 木 京 子	84歳	只 見
馬 場 秀 子	91歳	塩ノ岐
齋 藤 昭 夫	86歳	大 倉
矢 沢 タケヨ	93歳	二軒在家

人のうごき

平成25年12月1日現在

人 口 4,666(－ 8)
 男 2,264(－ 1)
 女 2,402(－ 7)
 世帯数 1,815(－ 4)
 高齢化率 42.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 10 出生 5 死亡 6

あとがき

▽新年あけましておめでとうございます。この年末年始は雪が少なく雪かたしをあまりする事も無く過ごす事が出来ました。しかし、これから雪がドカッ降るのではないかと心配しているところです。
 ▽只見町の一大イベントである「雪まつり」の為にはある程度の雪は降って欲しいと思いますが、昨年のように大雪にはならないようにと祈るばかりです。
 ▽とりあえず私はこの大変な雪を楽しみたいと思っております。

(吉津)

地区センター職員
湯田 誉史

朝日地区センター
図書室☎84-2059

おすすめ新着図書

★オレたちバブル入行組



池井戸潤/著 (文春文庫)

大手銀行にバブル期に入行して、今は大阪西支店融資課長の半沢。支店長命令で無理に融資の承認を取り付けた会社が倒産した。すべての責任を押しつけようと暗躍する支店長。四面楚歌の半沢には債権回収しかない。夢多かりし新人時代は去り、気がつけば辛い中間管理職。そんな世代へエールを送る痛快エンターテインメント小説。

ドラマ「半沢直樹」の原作本。気になる方は、ぜひ読んでみてください。

★「本当の国語力」が驚くほど伸びる本



福嶋隆史/著 (大和出版)

「国語はセンス」だと思っているあなたへ、たった3つの力をマスターするだけでOK! 「国語力=論理的思考力」をつける画期的方法がこの本には記されています。

国語力を伸ばしたいという方、手に取って読んでみてはいかがでしょうか。

★図書室の本はみんなの本です。返却が遅れている本がないか、書棚の確認をお願いします。新しい図書や有用な書籍を購入しておりますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



ウソ (学名: *Pyrrhula pyrrhula griseiventris*)

[スズメ目アトリ科]



ウソは、和名の由来は口笛を意味する古語「嘯(口笛)」から来ており、ヒーと口笛のような鳴き声を発することから名付けられました。

全長は15~16cm、翼開長は約26cm。体重は21~34gあり、体はスズメよりやや大きく、頭の上と尾、翼の大部分は黒色、背中は灰青色。くちばしは太く短く黒い。雄の頬、喉は淡桃色をしているが、雌にはこの淡桃色の部分はありません。

只見町では、1月末頃から小川地区の河川周辺、季の郷湯ら里の前庭等の里山付近の道路沿いにあるサクラ、ウメ、モモの樹木で給餌する姿を見ることができ、繁殖期以外は10羽ほどの小規模の群れを作り、木の実や蕾を食し、蕾ごと嘴でもぎ取り、外皮を器用にとってから芯のみを食します。

繁殖期は5~7月で、縄張りをもちつがいで生活し、針葉樹の枝の上に枯れ枝などを使って椀形の巣を作ります。

酷似した個体で「アカウソ」という鳥がおり、特徴は胸から腹が紅色・尾羽の一番外側に白色の軸班があります。

企画展示 「旧田子倉集落の生活と文化」展
期間 1月5日(日)~3月末まで

渡部弥さんが只見町にある「ふるさと館田子倉」に収集していた田子倉集落に関する展示物を展示します。

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

私たちが 今年の「雪むすめ」です!

2月8、9日に行われる第42回只見ふるさとの雪まつりの「雪むすめ」への委嘱状交付式が12月13日に行われ、渡部朋子さんと長谷部千晶さん、そしてインターネットを利用して雪まつりの情報を発信するツイート雪むすめのケバブちゃんへ目黒町長から委嘱状が手渡されました。

「雪むすめ」の2人は「来場者楽しんでいただき雪まつりが盛り上がるよう頑張りたいです」と意気込みを話してくれました。

ぜひ皆さん雪まつりにお越しください!



左から「渡部朋子さん」「長谷部千晶さん」
中央「ケバブちゃん」